



四條畷市議会議員

ながはた

長畑ひろのり News



発行：2009.02.01

- 市政報告 02 月号 -

vol.020

ご意見は次の e メールアドレスへ
公式HP & ブログは次のURLへ

sky@nagahata.jp

phone：072-878-3205

http://nagahata.jp

fax：072-877-1194

こんにちは、市政報告です！

1961年4月1日が私の誕生日で、それから4ヶ月遅れた8月4日にオバマ大統領は生まれています。同じ47歳、スケールの違いはありますが私も負けずに政治に取り組みます。

「近畿最古の弥生土器出土」について

昨年10月11日～12月14日に四條畷市立歴史民俗資料館において第23回特別展「ひとつぶの籾（モミ）」が開催され、私もそこで驚くような展示物を目の当たりにしました。

展示物は、第二京阪道路建設に伴う寝屋川市と四條畷市にまたがる讚良郡条里遺跡の発掘調査（2003年10月～05年12月）において出土した物が中心でした。また、07年1月18日の読売新聞の記事（右画像）にもなっている四條畷市側で出土した近畿最古の弥生土器も展示されていました。

これらの年代を科学的に測定【放射能炭素年代測定（AMS法）】しますと、紀元前7～前5世紀との結果が出ました。土器自体の形態や製作手法も、これまで確認されている弥生前期の始まりに位置する土器より一段古く近畿では神戸市東灘区の本山遺跡で出土した弥生土器が最古とされていましたが、それより古い事がわかりました。

しかも、この土器と同時に出土した物にも多くの歴史的意義がある事がわかりました。

まず、多くの縄文晩期土器と弥生土器が同じ場所から出土しています。この点につきましては、右上の朝日新聞記事下線部分を参照して下さい。

また、以前にも縄文晩期の深鉢が二点出土しており、そのうちの一点に籾圧痕（右画像）が残されていました。これは大阪府下で最も古い米の記憶です。

右は07年2月9日の朝日新聞の記事です。左記の読売新聞と同じ内容について、一月後に書かれたもので一部を抜粋します。

・・・科学年代を与えられて古い資料と評価されただけではなく、土器そのものが、これまでの資料より古いものとして認識された点がまず重要だ。・・・瀬戸内海地域を東伝する本格的な農耕集団の影響下に作られたものとみてよい。

しかも、はるばる土器が運び込まれたものではなく、材料の粘土は地元大阪産で、さらに土器焼きを行っていた証拠もみられた。東九州や瀬戸内沿岸部などからダイレクトに人々が到来したことを想像させる。・・・

いまひとつ興味深いことは、これら誕生間なしの弥生土器に突帯文時と呼ばれる縄文時代晩期の容器の技術や作風が早くも取り込まれていることで、土着の縄文人と新来の弥生人の友好的な関係がありありと読み取れる。かつては最初期の弥生土器を作り始めた人々は、狩猟・採集生活に比重を置く縄文人の生活領域に進出できず、一定時間足踏みし、すみ分けがおこなわれていたと理解されただけに、この点においても解釈の変更を迫る資料といえる。・・・

画期的な土器と接し、初期農耕文化の成立や波及の実像をめぐって、見直さなければならないことが一気に増えたが、とくに縄文時代から弥生時代への移行問題は、実年代論争とも深く絡むだけに全国各地の考古学者が着実な出土資料に基づき再検証すべき大きな課題であろう。・・・



従来、弥生時代の始まりは約2300年前と考えられていましたが、この遺跡から出土した土器や木製品、炭化米や植物種子をAMS法で測定しますと、2500年以上前にさかのぼる可能性があるとの驚く結果が出ており、実年代を考えるうえでも重要です。



縄文時代と弥生時代の関係や、弥生時代が始まる年代に疑問を呈する出土品が、何千年もの時を経て四條畷市の地で発掘されたのは大変うれしい事であり重要な事で、今後、四條畷市から日本の歴史が変わるのではと思います。

「昨年の市職員処分」について

昨年12月25日、新聞各紙が掲載した本市職員の大量処分。これに限らず昨年は多くの不正な事務処理が発覚しました。そこで、昨年中に市職員が処分された件について簡単に記します。



四條畷市 36人を処分

新たに不適正な事務処理

産経新聞より

12月24日「合計36人」

減給	2人
戒告	2人
文書訓告	6人
嚴重注意	13人
口頭注意	13人

7月23日「合計10人」

減給	2人
戒告	2人
文書訓告	4人
嚴重注意	2人

3月13日「8人」

懲戒免職	2人
停職	2人
減給	1人
文書訓告	2人
嚴重注意	1人

5月27日「合計7人」

懲戒免職	1人
減給	3人
文書訓告	1人
嚴重注意	2人

以上、全職員数の約14%にあたる合計61人の大量処分が2008年中に行われました。

また、不適正な事務処理等に関わった業者も、2009年1月19日より“5社が指名停止2ヶ月”と“7社が文書による嚴重注意”の処分を受けました。不正を働いた業者の処分は当然の事です。しかし、市職員から不正を持ちかけられなければおきることは無く、何とも後味の悪い処分です。

「くすのき広域連合決算」について

私の所属する“くすのき広域連合”の議会において「平成19年度くすのき広域連合会計歳入歳出決算」の認定が上程され、無事可決されましたので内容を簡単に報告します。

歳入総額	162億 852万5千円
歳出総額	157億7,044万4千円
差し引き	4億3,808万1千円 (黒字)

以上のように4億円以上もの大幅な黒字となっていますが平成19年度の歳入には保険給付等に対する介護給付費の国庫・府費・支払基金及び関係3市の確定負担金額が含まれており、それらを計算しますと合計1億5,928万8千円の受入れ超過となります。この受入れ超過額につきましては平成20年度において清算及び返還をしなければならず、これら返還金の財源を先の黒字額から差し引きますと、平成19年度決算は2億7,879万3千円の実質黒字となります。

「国保料の格差」について

右は、昨年度の毎日新聞の記事です。その中に国民健康保険(国保)の保険料の数値を算出するモデルとなった2008年度における「所得200万円の4人家族」の高額順の表も載っていましたので右下に一部略していますが記します。

記事の内容は、国保の保険料が市区町村によって地域格差がある点についてです。

最高額は寝屋川市で同じ算出方法(自治体によって算出方法が違う)の最低額である東京都多摩市の21万9800円と2.29倍の開きがある事も明らかになり、それについて寝屋川市の保険事業室は「低所得者が多く収納率も低いため、滞納分を穴埋めするために高額に設定せざるを得ない」と記事中で述べています。

私も本市保険年金課に先と同モデルで保険料を算出して頂きました。するとその金額は全国平均32万8,900円より約6万円も高い38万5,120円でした。寝屋川市も述べています様に収納率が低くなったり、また病院の利用が多くなりますと結局は保険料に返ってきます。四條畷市の収納率は87.85%と府下平均の87.42%より高いのですが、保険料を全国平均へ近づける為にも、担当課の収納率アップの努力と市民の協力をお願いします。

「無保険の子」存在の自治体

国保料格差2倍超

所得の4分の1も

自治体による非正規労働者加入の国民健康保険(国保)の保険料は、市区町村によって最大6割超の格差があることが18日、毎日新聞の全国調査で分かった。自治体ごとに決める保険料を全国調査で比較した公算(あくまで、格差が初めて具体的に算出された)が所得の4分の1に達する自治体もあり、格差が拡大していることが明らかになった。(2008年度、無保険の子数)

毎日新聞より

- ① 寝屋川市 (大阪) 50万3,900円
- ② 風間浦村
- ③ 別府市
- ④ 宮古島市
- ⑤ 湯浅町
- ⑥ 徳島市
- ⑦ 臼杵市
- ⑧ 根室市
- ⑨ 人吉市
- ⑩ 和歌山市
- ⑪ 大槌町
- ⑫ 函館市
- ⑬ 堺市
- ⑭ 久留米市
- ⑮ 笠岡市
- ⑯ 貝塚市 (大阪) 42万8,160円
- ⑰ 宇治市
- ⑱ 秋田市
- ⑲ 門真市 (大阪) 42万4,750円
- ⑳ 泉大津市 (大阪) 42万3,900円

☆ 長畑ひろのり市政報告会のお知らせ ☆
 日時：2009年2月26日木曜日 夜7時30分より
 場所：四條畷市 市民総合センター3階 視聴覚室
 多くの方のご参加、お待ちしております!

